

令和元年度 町の決算

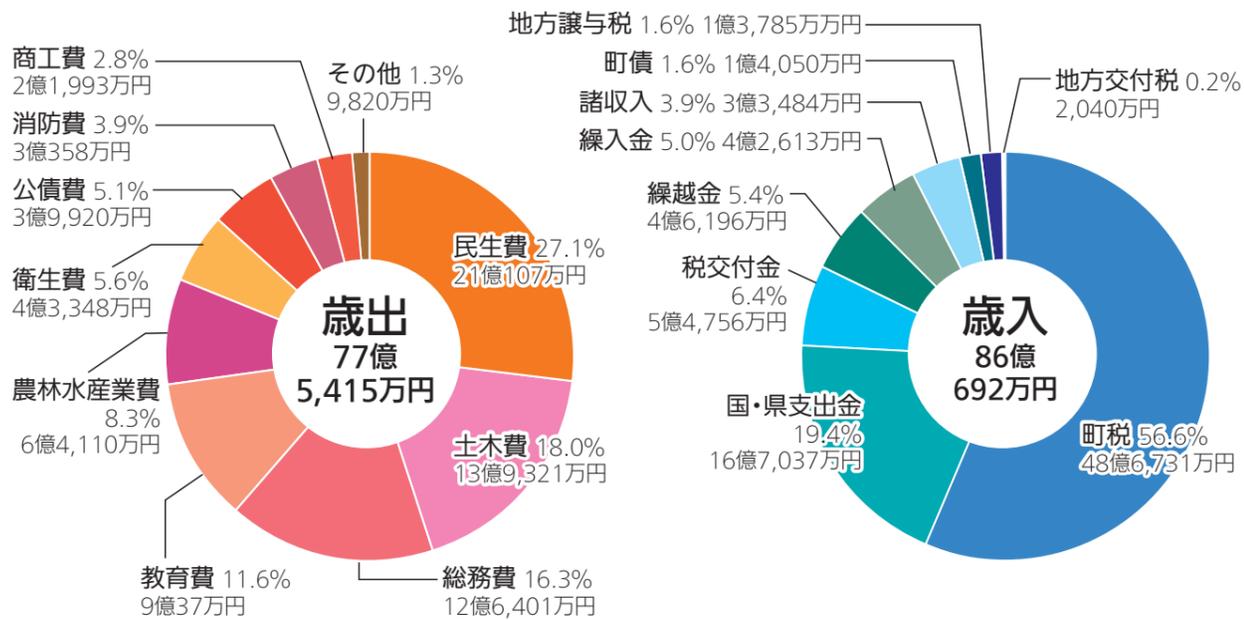
企画課財政係 ☎ 028(677)6031

令和元年度の決算が9月議会で認定されましたので、その概要をお知らせします。一般会計と特別会計の歳入合計では、130億7,499万円(5億354万円の増)、歳出では、120億2,098万円(8,995万円の増)となりました。

一般会計 福祉や教育、消防など町民の生活に関わる基本的な会計

歳入では、昨年度に続き企業業績の好調による法人町民税が増加したことなどから町税総額が48億6,731万円、前年度比で1億1,324万円(2.4%)の増となりました。

歳出では、LRT整備費や祖母井中央地区整備費の増加などにより土木費が13億9,321万円、前年度比で2億7,424万円(24.5%)の増加となりました。また、財政調整基金積立金が減少したことによる総務費が12億6,401万円、前年度比で1億4,417万円(10.2%)の減などとなりました。



特別会計 特定の事業を行うために一般会計とは別に経理が行われている会計

社会保障関連会計では、高齢化によって後期高齢者医療や介護保険への加入者・対象者の増加により、給付費等の歳出が増加しました。公共下水道事業では、管きょ布設にかかる設計・工事の増加により歳出が3億190万円、前年度比17.4%の増となりました。宅地造成事業では、祖陽が丘住宅団地の造成工事が完了したことにより歳出が2億2,088万円、前年度比で47.5%の減となりました。

会計名		歳入	前年度増減率	歳出	前年度増減率	
社会保障	国民健康保険	19億5,339万円	-3.1%	19億701万円	-2.4%	
	後期高齢者医療	1億7,104万円	+3.7%	1億6,604万円	+3.6%	
	介護保険	保険事業勘定	15億1,593万円	+3.5%	14億4,069万円	+1.7%
		介護サービス事業勘定	488万円	-26.4%	280万円	-52.5%
芳賀工業団地排水処理センター		5,464万円	+3.9%	4,827万円	+0.6%	
公共下水道事業		3億1,904万円	+19.2%	3億190万円	+17.4%	
農業集落排水事業		1億8,144万円	+1.1%	1億7,923万円	+3.2%	
宅地造成事業		2億6,771万円	-42.2%	2億2,088万円	-47.5%	

令和元年度に行った主な事業

便利をつなげる

LRT整備費 4億3,355万円
ひばりタクシー運行費 2,574万円
交通安全施設整備費 8,601万円



▲LRT道路拡幅工事(芳賀台地内)



▲芳賀日赤病院までひばりタクシー運行拡大

笑顔をつなげる

子どもの健康づくり支援費 1,260万円
こども医療助成費 7,576万円
健康づくり推進費 632万円



▲健康づくりモデル地区事業(上生地区)



▲交通安全危険箇所の合同点検(町内全域)

教育をつなげる

英語力向上推進費 2,113万円
小・中学校教育振興費 4,028万円
総合情報館管理費 2,890万円



▲小学生の社会科見学(ホンダRG)

地域をつなげる

交通安全対策費 884万円
災害対策費 325万円
自治振興費 1,881万円



▲交通安全危険箇所の合同点検(町内全域)

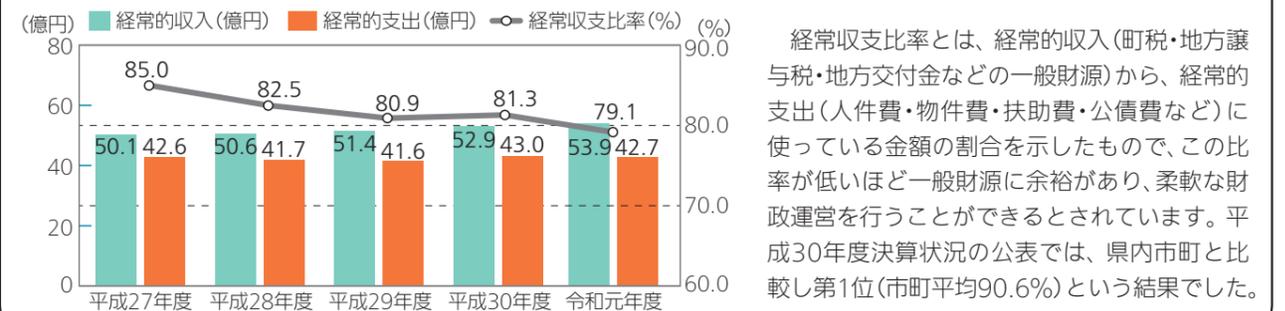
話題をつなげる

農業農村整備費 8,098万円
北部2地区ほ場整備事業費 1,461万円
農業担い手育成支援費 2,437万円



▲にっこり梨PRイベント(JR大宮駅)

経常収支と経常収支比率の推移



健全化判断比率と資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」で5つの財政指標が設けられています。比率が下表の基準値を超えたときは、財政健全化のための計画策定や地方債の発行制限などが求められます。令和元年度決算に基づく町の比率は、いずれも基準値を下回りました。

指標名	本町の数値	早期健全化基準(黄色信号)	内容
健全化判断比率	2.1	25	一般会計などの赤字の割合
実質赤字比率	該当なし	14.93	全会計の赤字の割合
連結実質赤字比率	該当なし	19.93	年間の借入金返済額の割合
実質公債費率	2.1	25	将来に負担が見込まれる負債の割合
将来負担比率	該当なし	350	公営企業ごとの資金不足額の事業規模に対する割合
資金不足比率	該当なし	20	